

平成30年3月28日
秋田市障がい者総合支援協議会

平成29年度秋田市障がい者総合支援協議会就労部会の総括について

部 会：秋田市障がい者総合支援協議会就労部会
部会長：秋田市障がい者総合支援協議会就労部会会長
委 員：秋田市障がい者総合支援協議会就労部会委員

1 平成29年度の目指すべき方向性と課題について

(1) 協議の方向性

平成29年度の就労部会における目指すべき方向性は次のとおりであった。
障がい者の就労環境の整備のため、障がい者の就労支援に携わる機関により、以下に掲げる課題に取り組むもの

- ア 障がい者の就労課題に特化した課題整理と検討
- イ 就労先の開拓について
- ウ 実習先の開拓について
- エ 特別支援学校卒業予定者等の就労系障害福祉サービス利用について

(2) 協議内容

(1)に掲げる目指すべき方向性を踏まえ、次の課題について協議を行うこととした。

- ア 課題解決の検証および課題の再整理について
【旧課題提言分類表の活用による新たな「課題提言分類表」の作成】
- イ 就労系障害福祉サービスについて
 - (ア) 「課題検証シート」を活用した就労系障害福祉サービス事業所等における課題把握
 - (イ) サービス提供事業所と就労支援機関による情報共有に向けた研修会等の実施
 - (ウ) サービス利用者やその家族が抱える不安等を把握するため手法の検討
 - (エ) 市民の障がい福祉の理解促進および障害者就労施設等からの優先調達の推進に向けた手法の検討
- ウ 就労環境の整備に向けた民間企業等への情報発信手法の検討について
- エ 職場実習の体制整備について
【第6次産業を接点とする関係機関との連携体制の構築および農福連携に向けた検討】
- オ 事業所一覧の作成
【障害福祉サービス等提供事業所にかかる事業内容等の詳細事項を記載した一覧表の作成】
- カ その他、部会で検討が必要と判断した事項

2 協議の方法について

支援内容ごとにより具体的な協議を進めるため、協議の方法については、次に掲げる方法のとおり行うこととした。

(1) 運営会議の開催

「協議会」で協議のあった課題等について情報共有を図り、「部会」でのスムーズな運営を行うための準備やその方法等について確認または協議をするため「運営会議」を必要に応じて開催する。

(2) 部会の開催

協議会からの課題検討の依頼のあった内容や各部会の判断により独自に協議が必要と判断した事項について協議を行うため、必要に応じて開催する。

3 協議の経緯について（○：運営会議 □：部会 △：合同部会）

△H29.7.5(火) 第1回 合同部会および個別部会 中央市民サービスセンター

PM3:00～5:00

- ・出席者：(相談支援部会) 斎藤委員、成田委員、猪岡委員、石井委員、菊地委員、宮田委員
片桐委員、畠山委員、岩本委員、船起委員、秋本委員
(就労部会) 牧野委員、加藤委員、武田委員、上杉委員、栗田委員、阿部委員
(児童部会) 小野寺委員、宮野委員、大山委員、鈴木委員、小坂委員

・主な協議内容等

【合同部会全体会議】

- (1) 秋田市障がい者総合支援協議会の概要について
- (2) 秋田市障がい者総合支援協議会各部会の運営方法について

【各部会個別会議】

- (1) 部会長および事務担当者の互選について
- (2) 追加する委員について
- (3) 目指すべき方向性と29年度の課題について

□H29.7.28(金) 第1回 部会 中央市民サービスセンター音楽室3 PM1:30～3:00

- ・出席者：牧野委員（部会長）、加藤委員、武田委員、上杉委員、栗田委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【由利氏（天王みどり学園）、保坂氏（就労支援センターこまち）、筒井氏（保戸野ハウス）】、事務局（障がい福祉課3名）

・主な協議内容等

- (1) 平成29年度就労部会「目指すべき方向性」の確認
- (2) 平成29年度の検討課題について（確認）
- (3) 課題検討の優先順位（検討・実施時期など）と今後の方策について

□H29. 8. 25(金) 第2回 部会 市役所庁舎 第1委員会室 PM1:30~3:00

- ・出席者：牧野委員（部会長）、加藤委員、堀野委員、上杉委員、栗田委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【由利氏（天王みどり学園）、保坂氏（就労支援センターこまち）、筒井氏（保戸野ハウス）、福司氏（白樺）、神原氏（障害者職業・生活支援センター）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 平成29年度の各課題の進捗状況確認と検討について
 - ア 旧課題提言分類表
 - イ 課題検証シートを活用した課題把握
 - ウ 研修会等の実施について
 - エ 市民の障がい福祉の理解推進
 - オ 民間企業等への情報発信について
 - カ 事業所一覧の修正と別途作成予定の事業所（グループホーム）一覧表の素案について
- (2) 各委員・関係者より情報提供および情報・意見交換

□H29. 9. 29(金) 第3回 部会 あきぎんスタジアム会議室 PM1:30~3:00

- ・出席者：牧野委員（部会長）、加藤委員、堀野委員、上杉委員、佐藤氏（武田委員代理）、阿部委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【由利氏（天王みどり学園）、保坂氏（就労支援センターこまち）、筒井氏（保戸野ハウス）、近江氏（白樺）、藤原氏（ごろりんはうす）】、事務局（障がい福祉課3名）

・主な協議内容等

- (1) 平成29年度の各課題の進捗状況確認と検討について
 - ア 旧課題提言分類表
 - イ 課題検証シートを活用した課題把握
 - ウ 研修会等の実施について
 - エ 市民の障がい福祉の理解推進
 - オ 民間企業等への情報発信について
 - カ 事業所一覧の修正と別途作成予定の事業所（グループホーム）一覧表の素案について
- (2) 各委員・関係者より情報提供および情報・意見交換

□H29. 10. 27(金) 第4回 部会 中央市民サービスセンター音楽室3 PM1:30~3:00

- ・出席者：牧野委員（部会長）、加藤委員、武田委員、上杉委員、栗田委員、大越委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【由利氏（天王みどり学園）、保坂氏（就労支援センターこまち）、近江氏（白樺）、松橋氏（緑光苑）】、事務局（障がい福祉課2名）

・主な協議内容等

- (1) 平成29年度の各課題の進捗状況確認と検討について
 - ア 課題検証シートと就労支援研修会について
 - イ 市役所1階フリースペースを活用した就労系サービス事業所のパネル・製品展示

ウ 市の企業立地雇用課との連携による情報発信について

エ 事業所一覧の作成について

(2)各委員より話題提供および情報・意見交換

□H29. 11. 24(金) 第5回 部会 中央市民サービスセンター音楽室3 PM1:30~2:30

・出席者：牧野委員（部会長）、加藤委員、武田委員、栗田委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【小川氏（天王みどり学園）、保坂氏（就労支援センターこまち）】、事務局（障がい福祉課2名）

・主な協議内容等

(1)平成29年度の各課題の進捗状況確認と検討について

ア 就労支援研修会について

イ 市役所1階フリースペースを活用した就労系サービス事業所のパネル・製品展示

ウ 市の企業立地雇用課との連携による情報発信について

エ 事業所一覧の作成について

(2)各委員より話題提供および情報・意見交換

□H29. 12. 22(金) 第6回 部会 中央市民サービスセンター音楽室2 PM1:30~3:30

・出席者：牧野委員（部会長）、加藤委員、武田委員、上杉委員、栗田委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【佐藤氏（秋田ワークセンター）、筒井氏（保戸野ハウス）、近江氏（白樺）、保坂氏（就労支援センターこまち）、松橋氏（緑光苑）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

(1)平成29年度の各課題の進捗状況確認と検討について

ア 課題検証シートと就労支援研修会について

イ 市役所1階フリースペースを活用した就労系サービス事業所のパネル・製品展示

ウ 市の企業立地雇用課との連携による情報発信について

エ 事業所一覧の作成について

(4)各委員・関係者より話題提供および情報・意見交換

□H30. 1. 24(火) 第7回 部会 中央市民サービスセンター音楽室2 PM1:30~3:00

・出席者：牧野委員（部会長）、堀野委員、武田委員、上杉委員、栗田委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【佐藤氏（秋田ワークセンター）、筒井氏（保戸野ハウス）、保坂氏（就労支援センターこまち）、近江氏（白樺）、松橋氏（緑光苑）、山口氏（高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田支部）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

(1)平成29年度の各課題の進捗状況確認と検討について

ア 課題検証シートと就労支援研修会について

【就労支援研修会のふりかえりと課題】

- イ 市役所1階フリースペースを活用した就労系サービス事業所のパネル・製品展示
- ウ 事業所一覧の市ホームページ掲載の進捗状況について
- エ 平成29年度の総括に向けて

(2) 各委員・関係者より話題提供および情報・意見交換

□H30.2.23(金) 第8回 部会 中央市民サービスセンター音楽室2 PM1:30~3:00

- ・出席者：牧野委員（部会長）、加藤委員、堀野委員、武田委員、上杉委員、栗田委員、阿部委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【由利氏（天王みどり学園）、佐藤氏（秋田ワークセンター）、筒井氏（保戸野ハウス）、近江氏（白樺）、齋藤氏（相談支援部会長）】、事務局（障がい福祉課2名）

・主な協議内容等

- (1) 平成29年度各課題の進捗状況確認と検討
平成29年度総括・課題のふりかえりと次年度に向けての課題
- (2) 各委員より話題提供及び情報・意見交換

4 協議結果：協議の成果と今後の検討課題について

(1) 課題解決の検証および課題の再整理について

【旧課題提言分類表の活用による新たな「課題提言分類表」の作成】

① 協議の成果

旧課題提言分類表における就労分野の提言項目（5項目）について、確認を行った結果、すでに現在の各部会において協議を行ったものや社会情勢・制度創設等により、解決が図られている事項であるとの共通認識に至ったもの。

なお、部会としては、新たな「課題提言分類表」の作成は行わず、就労系障害福祉サービス提供事業所における課題については、引き続き「課題検証シート」を活用して把握し、その解決に向けてフレキシブルに対応していくこととしたもの。

② 今後の検討課題

すでに解決が図られている事項についても、その状況等に変化があれば随時、協議・検討していくこととしたい。

(2) 就労系障害福祉サービスについて

① 協議の成果

ア 「課題検証シート」を活用した就労系障害福祉サービス事業所等における課題把握

本年度は、就労系障害福祉サービス提供事業所（39事業所）を対象として、各事業所が抱える疑問や課題についてアンケートを実施した。回収したアンケートの内容（10事業所分）については、就労系障害福祉サービス提供事業所の職員と部会委員が一堂に会し、平成30年1月に開催した「就労支援研修会」（次の項目「イ」に記載）において協議、検討および意見交換を行った。

イ サービス提供事業所と就労支援機関による情報共有に向けた研修会等の実施

これまでと同様に、就労移行支援事業所従事者を関係者として部会に招集し委員との情報交換（企業の障害者雇用に関する事項、就労支援関連制度、新規事業所情報等）を図った。

併せて、当該協議の課題に対応すべく、昨年度初開催し、参加者から好評を得た就労系障害福祉サービス提供事業所と就労支援機関との情報交換や事業所間での交流を目的とした「就労支援研修会」を平成30年1月に開催した。

2回目となる当該研修会には21事業所から参加いただき、「福祉就労から企業就労へのポイント」をテーマにハローワークや障害者職業センターからの講話、さらに企業就労に向けて移行支援を行なっている就労移行支援事業所からの事例発表を内容として行った。

研修会では、①工賃向上、②施設就労、③企業実習や企業就労について、④支援方法など、現場が抱える様々な課題や疑問について共通認識を図り、各事業所における就労支援のスキルアップと事業所間の交流の機会の確保につなげた。

ウ サービス利用者やその家族が抱える不安等を把握するための手法の検討

新たな手法の検討には至らなかったが、本部会からの要請による市主催の就労系を含む障害福祉サービス利用に関する説明会を利用希望者やその家族等を対象として11月に2回実施された。説明会には、本部会委員である特別支援学校進路指導主事も加わり、質疑応答にも対応するなどし、参加者の理解促進や不安等の把握・解消に努めた。

エ 市民の障がい福祉の理解促進および障害者就労施設等からの優先調達の推進に向けた手法の検討

市民の障がい福祉の理解促進に関する取組みとして、就労系の障害福祉サービス（就労継続支援A型、就労継続支援B型）提供事業所の活動内容を展示紹介する機会として、平成30年1月に市役所1階市民ホールにて、事業所で作成している商品の展示会を初開催した。

初開催ということもあり、39事業所中、6事業所のみでの参加ではあったが来庁者等が足を止めて作品に見入る光景や、また開催期間中にメディアで取り上げられるなどし、その開催目的を果たすことができた。

なお、優先調達の推進に向けた具体的な手法の検討までには至らなかったが、前記した就労支援研修会において、参加した事業所からは、優先調達の推進に対する意見もあった。

② 今後の検討課題

アについて

課題検証については、今後も継続実施し、障害サービス提供事業所が抱える課題や疑問の把握に努め、部会や研修会において協議・検討していくこととしたい。

イについて

就労移行支援事業所従事者からは関係者として引き続き、就労部会に参加していただくとともに、「就労支援研修会」も引き続き実施し、就労支援のスキルアップや情報交換および事業所間の情報共有、交流の場の充実を図っていき

たい。

ウについて

福祉・労働行政、特別支援学校および就業支援機関などにおいては、当事者やその家族からの相談や問合せに対して情報提供するとともに、市主催の障害福祉サービス利用に関する説明会の開催にあたっては、部会としても引き続き協力をしていきたい。

エについて

本年度に初開催した就労系障害福祉サービス提供事業所の活動内容を紹介する場については、引き続きその確保に努め、障がい福祉の理解促進につなげていきたい。

なお、本年度は、商品（物品）の提供を行っている事業所のみによる事業所紹介（商品展示）となったことから、今後は、障害者就労施設等からの優先調達の推進にもつながるよう、役務の提供（清掃や納品確認作業など）を行っている事業所も含めた場の確保に努めていきたい。

(3) 就労環境の整備に向けた民間企業等への情報発信手法の検討について

① 協議の成果

新たな手法の検討には至らなかったが、行政として民間企業との接点を担う秋田市企業立地雇用課との連携を継続し、同課が管理している企業情報データベースを活用し、特別支援学校高等部生徒の職場見学、体験、職場実習の受け入れ協力依頼に関する情報を登録企業約700社に対してメール配信している。

② 今後の検討課題

秋田市企業立地雇用課との連携を図り、障害者雇用に関する情報（職場実習受け入れ依頼等も含めて）発信に努めることとする。

また、部会への参加者からの情報では、民間企業から就労系障害福祉サービス提供事業所に対して、商品の作成等の作業依頼が増えているとのことから今後は、事業所が受注可能な作業についても、秋田市企業立地雇用課が管理している企業データベースの登録企業へPRとして情報提供を行っていくこととしたい。

(4) 職場実習の体制整備について

【第6次産業を接点とする関係機関との連携体制の構築および農福連携に向けた検討】

① 協議の成果

今年度は、第6次産業（農畜産物生産に加え食品加工（2次産業）と流通・販売（3次産業）を取り入れた産業形態）関係機関との接点を見出すことができず、秋田市内の福祉と農業との連携事例、秋田県が行なっている農福連携マッチング事業の情報収集およびその情報共有を図るに留まり、検討・協議までに至らなかった。

② 今後の検討課題

秋田市内における第6次産業の事例は少ないものの、引き続き情報収集に努め多面的視点から農福連携の接点を見出して行きたい。

(5) 事業所一覧の作成

【障害福祉サービス等提供事業所にかかる事業内容等の詳細事項を記載した一覧表の作成】

① 協議の成果

平成26年度に部会で作成した就労系障害福祉サービス（就労移行支援・就労継続支援A型・B型）の事業所の事業内容等の詳細事項を記載した一覧表（以下「就労系事業所一覧」という。）については、気軽にいつでも携帯端末等で閲覧ができるように市障がい福祉課ホームページに掲載し、新規に事業所が開設されるごとにその内容を更新し、障害福祉サービス等の利用者および関係者の利便性向上に努めてきた。

そのため、利用者等の更なる利便性の向上につなげるため、未作成の障害福祉サービスの事業所一覧の作成については、本年度、3部会（相談支援部会、就労部会、児童部会）の共通課題として、分担して行うこととしていたものであり、本部会ではグループホームの一覧の作成に向けた検討を行い、一覧表の完成に至った。なお、現在、市障がい福祉課ホームページへの掲載準備を進めている。

② 今後の検討課題

就労系事業所一覧表の更新を継続し、利用者等の利便性向上につなげていきたい

5 今後の部会での協議等について

(1) 就労系障害福祉サービスについて

ア 「課題検証シート」を活用した就労系障害福祉サービス提供事業所における課題把握（継続）

イ 就労系障害福祉サービス提供事業所と就労支援機関による支援スキルアップと情報共有に向けた研修会等の実施（継続）

(2) 就労環境、職場実習環境の整備および就労系障害サービス提供事業所の作業受注に向けた民間企業等への情報発信について（一部新規）

(3) 事業所一覧表の更新

(4) 障がい者等の就労にかかる課題に関する整理と検討

ア 就労系障害福祉サービス提供事業所の工賃向上に向けた検討

【市庁内での販売について】

イ 企業の募集や制度等の情報共有

ウ 「直B利用に係る就労アセスメント」について相談支援部会との連携

※直B利用に係る就労アセスメントとは

特別支援学校卒業者等の就労系障害福祉サービスの利用にあたっては、まずは就労移行支援事業を利用し、一般就労が可能かどうかを評価（アセスメント）した上で、就労継続支援B型事業を利用することが原則となっている。